生活環境の調整

福祉用具や歩行補助具をうまく利用することで、身体への負担が軽減できます。自宅内の段差解消や手すりの設置など、身体の状態に合わせた環境整備が大切です。





家族への介助・指導

動作への適切な介助を行うことで、ご家族の介護負担が軽減できます。姿勢の調整、リンパ浮腫に対する指導やストレッチの方法などをご家族が理解することで、安心して介護に取り組めることが大切です。

理学療法士は通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションなどを通して、住み慣れた地域・自宅で安楽で穏やかな生活が送れるように支援をしていきます。

